

公共施設

体育施設を多角的視点に立って活用しては

齋藤貴亮議員(フオ) ①中央公園に夜間対応型のフットサルコートがつくれないか。

②グラウンド照明の1時間当たりの経費は。

③中央公園のテニスコートを砂入り人工芝にし、照明をつけてフットサルコートとの併用型にした場合の費用は。

教育長 ①現行のサッカーコートを利用することは可能だが、新規の設置は難しい。

②約5千3百50円である。

③概算で6千万円以上の経費が必要となる。

地域センターの 利便性を向上させよう

虹川 浩議員(公明) ①利便性向上のため、駐車場の増設を検討すべきでは。

②嘱託職員の研修内容は。

③今後の設備全体の計画は。

市長 ①敷地面積等から見て困難である。

②全職員を対象に、条例や業務マニュアル等に基づき説明を

美園地域センター



行い、事務の取り扱いや接遇に重点を置いた研修を行っている。

③常に現状を把握して修理等

教育文化

子どもたちに充実した
情報リテラシー教育を

日向美砂子議員(緑ネ) ①学習指導要領ではパソコンの技術習得等をどう位置づけているか。

②教育委員会として、小学校で情報リテラシーを学ぶための計画を持っているか。

③パソコン関連機器にかかる費用に見合った情報教育を提供できているか。

教育長 ①小学校ではなれ親しむこと、中学校では学習活動を充実することと位置づけている。

②情報教育全体計画等を作成しており、各学校の現状に応じて活用できるようにしている。

③十分に反映されている。

小平市内小・中学校の
情報化推進について

永田政弘議員(政和) ①教員1人に1台のパソコン配備はどう検討されているのか。

②教員のUSBメモリー使用は禁止すべきでは。

③パソコン等の整備に当たり市内の業者を視野に入れて、地

域の産業を活性化できないか。教育長 ①関係部局と調整を図り検討したい。

②適切な管理を指導しており、やむを得ない場合は事前に校長の許可を得ることとしている。

③現在のシステムへの迅速な対応が可能であれば視野に入れて研究したい。

専任の司書教諭の配置など
小・中学校図書館の充実を

木村まゆみ議員(共産) ①学校図書館協力員の見直しは。

②専任司書教諭の配置は。

③学校図書館相談員は2校に1人などの計画を持つべきでは。

教育長 ①本年度が文部科学省による試行の最終年度であるため、現在検証している。

②近隣市と同様に配置されていないため、東京都教育長会を通じ都に要望している。

③各学校に司書教諭有資格者や担当教諭がいることから、巡回による相談を基本としてスキルの向上に努めたい。

食育の視点から
給食を見直そう

岩本博子議員(緑ネ) ①給食を食べる時間は確保されているか。また、残食率との関係は。

②プラスチック食器は早急に改善が必要ではないか。

③学校で食料自給率等について学ぶ機会を持つ考えは。

教育長 ①小学校は40分から45分、中学校は30分である。時間を長くすることで残食率が大幅に減少するとは考えていない。

②中学校での改善を検討する。

市長 ②保育園での改善を研究する。

教育長 ③各学校の判断によるものと考える。

学校教育の課題の多様化、
深刻化にどう立ち向かうのか

宮守賢一議員(政和) ①平成19年度の決算審査で答弁したボトムアップをどのように進めていくのか。

②教育現場での課題は。

教育長 ①教育委員会事務局や各学校からの情報だけでなく、家庭、学校、地域社会等の現場の声や情報を、みずから可能な限り把握することに努めたい。

②子どもの学力向上、教員の指導力の向上、学校、家庭、地域との連携の中で子どもの健全育成のあり方を図っていくことなどである。

教育行政の今後について
教育長の方針を問う

浅倉成樹議員(公明) ①今後教員の質をどのように向上させるのか。

②地域見守りネットワークの評価と今後の取り組みは。

教育長 ①教員の学ぶ体制を学校が整え、その体制を教育委員会が支援していくなど、各学校の実態に応じた研修のあり方を整えていく。

②9月現在3千2百4人が参加し、参加率は34・4%である。

③学校でネットワーク協議会を中心に、保護者の意向を尊重して進めていくものと考えている。

④地域見守りネットワークの現状と今後について

西 克彦議員(共産) ①有料化した6月からの利用実績は。

②教育委員会はどうのように関

児童・女性

待機児童ゼロには認定こども園の
増設を進めるべき

津本裕子議員(公明) ①認定こども園への移行費用の概算は。

②増設に向けて支援を拡大すべきでは。

③公設民営で進める考えは。

市長 ①アットホーム事業実施園が幼稚園単独型へ移行する場合は、250万円以内の補助で可能と考えており、大規模改修を伴う場合は3千万円を限度とした補助金額を設定している。

②当面、国を上回る都の補助制度に準じた補助を行っていく。

③予定はない。

男女共同参画条例に
対応した施策の展開を

橋本久雄議員(緑ネ) ①男女共同参画センターのイメージは他市と違うのか。

②来年度以降の計画は。

③職員配置についての考えは。

市長 ①情報収集や施設提供などを基本としている。複合施設である小平元気村おがわ東内にあるため、施設内の他団体との連携・協力が図られる。

②小平アクティブプラン21の計画に基づき進めていく。平成21年度は小平市女性のつどいと共催事業を展開し、センターの利用促進を図っていく。

局の一員であり、状況を十分把握していくよう努めている。

③継続については、保護者の意思を尊重したい。情報の公表としては、協議会のホームページを開設する予定である。



男女共同参画センターでの市民活動

認可外保育施設の保育料
負担軽減補助制度の創設を

石毛航太郎議員(フオ) ①各施設への市独自補助の種類は。

②直近の待機児童数は。

③認可保育所と認可外保育施設の入所率は。

市長 ①私立保育園へは児童処遇費、乳児保育奨励費等。認定保育室へは児童加算、利用促進費等。認定家庭福祉員へは児童加算、施設費等がある。認証保育所への単独補助はない。

②平成20年10月で92人である。

③前者は104・7%、後者は101・8%であり、特性に沿って利用されていると考える。

子ども家庭支援センターを
市内各地域に開設してほしい

津本裕子議員(公明) ①まず東・西・中央地域に設置し、そ

公園用水

用水路活用計画について

苗村洋子議員(緑ネ) ①用水路活用計画の見直しと検討委員会報告書との関係は。

②活用計画で目標や目安を出すことが必要と思うがどうか。

③事業を進める手順は。

市長 ①前者は第三次長期総合計画に基づき行う予定であるが、後者は活用区分の一部見直しを行ったものである。

②将来的な活用方針を示すものなので困難と考える。

③事前に説明会を開催し、地域住民との協議・調整を図りながら整備に努めていく。

野火止用水の
保全について

藤原哲重議員(フオ) ①野火止用水全体の管理・保全計画はあるのか。



野火止用水

②西武国分寺線踏切から中宿橋間の土どめ板を取りかえては。

③野火止通りの防護さくをグリーンロードにふさわしい魅力あるものに変更しては。

市長 ①昭和49年策定の都の野火止用水保全計画に基づき、管理・保全を行っている。

②用水路のり面が崩壊するおそれがある場合には、補修の方法等について関係機関と協議して検討したい。

③今後研究したい。

回田町201番地先の
遊歩道整備について

斉藤一夫議員(政和) ①草花街道は住宅の敷地内にネットフエンスでふさがれている場所があり、真つすぐ通れない。建物が撤去されたので、フェンスや植栽を撤去して遊歩道として通れるよう整備しては。

②整備した場合、安全・安心のために防犯灯を設置しては。

市長 ①社宅に住む人への配慮から閉鎖していたが、今後利便性や安全性に配慮した整備の可能性について考えていく。

②整備とあわせて検討したい。